

2025年3月23日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第67巻第52号(通算3434号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

小さくされている人を
大切に^{たいせつ}する^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

丈夫な人に医者はいらないが、具合の悪い人には必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」
を招くためではなく、「道をふみはずした者」を招くためである。(マルコによる福音書2:17)

レント (受難節) 第3主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏 (黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 86編 5-6節

賛美歌 21-305番 「イエスの担った十字架は」(1-3節) (©JASRAC)

消灯の詞

賛美歌 21-196番 「主のうちにこそ」 (©JASRAC)

聖書 マタイによる福音書 16章 13-28節

お祈り

賛美歌 21-296番 「いのちのいのちよ」 (©著作権消滅)

メッセージ 「神の力は底辺から」 牛田 匡 牧師

賛美歌 21-314番 「神の国の命の木よ」 (©教団讚美歌委員会)

主の祈り 21-62番 「天にいます わたしたちの父」 (©讚美歌改訂委員会)

献げ物 (*)

派遣 21-91番 「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 詩編 86 編 5-6節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

⁵わが主よ、あなたは恵み深く、赦しを与える方。

あなたを呼ぶすべての者に／慈しみに富んでおられます。

⁶主よ、私の祈りに耳を傾け／嘆き願う私の声を聞いてください。

消灯の詞 (参照：マタイによる福音書 26 章 69-75 節)

ペトロが 3 度もイエス様のことを知らないと言ったことを思いながら、このろうそくを消します。

聖書 マタイによる福音書 16 章 13-28節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹³イエスは、フィリポ・カイサリア地方に行ったとき、弟子たちに「人々は、人の子を何者だと言っているか」とお尋ねになった。¹⁴弟子たちは言った。「洗礼者ヨハネだと言う人、エリヤだと言う人、ほかに、エレミヤだとか、預言者の一人だと言う人もいます。」¹⁵イエスは言われた。「それでは、あなたがたは私を何者だと言うのか。」¹⁶シモン・ペトロが答えた。「あなたはメシア、生ける神の子です。」¹⁷すると、イエスはお答えになった。「バルヨナ・シモン、あなたは幸いだ。あなたにこのことを現したのは、^a人間ではなく、天におられる私の父である。¹⁸私も言うておく。あなたはペトロ。私はこの岩の上に私の教会を建てよう。陰府の門もこれに打ち勝つことはない。¹⁹私はあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上で結ぶことは、天でも結ばれ、地上で解くことは、天でも解かれる。」²⁰それから、イエスは、ご自分がメシアであることを誰にも話さないように、と弟子たちに命じられた。
(脚注 a：直訳「血と肉」)

²¹この時から、イエスは、ご自分が必ずエルサレムに行き、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受けて殺され、三日目に復活することになっている、と弟子たちに打ち明け始められた。²²すると、ペトロはイエスを脇へお連れして、いさめ始めた。「主よ、とんでもないことです。そんなことがあってはなりません。」²³イエスは振り向いてペトロに言われた。「サタン、引き下がれ。あなたは私の^b邪魔をする者だ。神のことを思わず、人のことを思っている。」²⁴それから、弟子たちに言われた。「私に付いて来たい者は、自分を^c捨て、自分の十字架を負って、私に従いなさい。²⁵自分の命を救おうと思う者は、それを失い、私のために命を失う者は、それを得る。²⁶たとえ人が全世界を手に入れても、自分の命を損なうなら、何の得があろうか。人はどんな代価を払って、その命を買い戻すことができようか。²⁷人の子は、父の栄光に輝いて天使たちと共に来るが、その時、それぞれの行いに応じて報いるのである。²⁸よく言うておく。ここに立っている人々の中には、人の子が御国と共に来るのを見るまでは、決して死なない者がいる。」

(脚注 b：直訳「つまずきだ」、c：別訳「否定し」)

《先週のメッセージより》2025年3月16日 受難節第2主日礼拝

「実によって木を知る」より

牛田匡牧師

聖書 マタイによる福音書 12章 22-37節

東日本大震災から14年目を迎えた先日3月11日、いわゆる「狭山事件」で犯人とされた石川一雄さんが、第三次再審請求の最中、86歳でお亡くなりになりました。「特定の地域に暮らしている」というだけで、被差別部落への偏見で殺人犯に仕立てあげられるというのは恐ろしいことです。これは石川一雄さん一人の問題ではなく、また昨年、事件から58年を経てようやく無罪が確定した袴田巖さん一人の問題ではなく、この社会の中で、いつ誰に起こってもおかしくない問題であり、忘れてたり、無関心になったりしてはならない問題なのだと思います。キリスト教関係の方々だけではなく、多方面で多くのの方々によって活動が今後も続けられていくことと思います。

今回のお話は、イエス様とファリサイ派の人々との問答でした。「マタイによる福音書」12章全体が、「自分たちこそが『正統』である」ということを自負していたファリサイ派の人々を批判する一連のお話となっています。その中で、33節からは「木の良し悪しはその実によって分かる」、「実によって木を知る」と書かれています。つまり、口で何を言っているかや、その人の身分や立場がどうか、ということではなく、実際の行動として「一体何をしたか／しなかったか」こそが、大事なのだということでしょう。傷ついた人や病気の人に寄り添い、手当てをするということも、部落解放や冤罪事件解決のために戦うことも、また子どもたち一人一人に真摯に向き合い、共に成長するということも、それらは全てキリスト教の専売特許ではありません。むしろ、クリスチャン人口が1%という日本の中では、クリスチャンではない人たちによって担われている部分の方が、圧倒的大部分でしょう。その木の良し悪しは、その実によって証明され、判断されます。どのような主義や主張、信仰を持っていたとしても、実が正しいかどうか、行動と結果が正しいかどうかで、真実が測られます。「自分たちこそが正しい」と主張するだけだったファリサイ派の人たちが、イエス様から批判されたことを思い起こし、私たちもまた「自分たちこそ正しい」と思い上がることがないようにしたいと思います。そして、大切なこととして、イエス様とその身をもって示されたように、私たちもまた言葉ではなく行動をもって、イエス様の道につながって歩む者へと、今日もここから変えられて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025年3月16日 受難節第2主日礼拝

礼拝出席 大人6名 子ども3名 献金 大人4,100円 中継視聴者数6回 感謝
 礼拝後に「おにぎり支援」として、皆で177個のおにぎりを作って、釜ヶ崎・いこ
 い食堂にお届けしました。冷たい雨の降るあいにくの天候でしたが、大勢の方々がい
 こい食堂の前に並ばれて、それぞれの方にお渡しさせて頂きました。どうもありが
 とうございました。

◎次週 2025年3月30日(日) 受難節(レント) 第4主日礼拝

招きの詞 詩編 145編 1-4節

聖書 マタイによる福音書 17章 1-9節

メッセージ 「これに聞け」水谷憲牧師

賛美歌 21-305番(©JASRAC)、21-285番(©教団)、21-520番(©教団)

今年のレント(受難節・四旬節)は、3月5日(水)から4月19日(土)です。
 レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどうい
 うことかについて考える時です。

◎公示・お知らせ

- ・本日、礼拝後に、臨時教会総会を開催いたします。議案は「担任教師辞任に関する
 件」です。教会員の方は出席、もしくは「議決権行使書」をご提出ください。その
 議決によりますが、次週30日の礼拝後に、送別昼食会を開催いたします。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。
 また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・3月30日(日)16時~31日(月)15時半にかけて、日本クリスチャンアカデミ
 ー関西セミナーハウスにて、フォーラム「避けられない原子力災害と、捨てられな
 い使用済み核燃料：必要を満たして余りある光と風の力」が開催されます。1日目
 の発題はアイリーン美緒子スミスさんによる「いのちを危うくする原子力発電」、
 2日目の発題は牛山泉さんによる「いのちを育む太陽の光と風の力」です。参加費は
 1泊3食込みで、一般16,000円。学生は
 5,000円です。申し込み〆切は25日(火)
 です。日本クリスチャンアカデミー関西セ
 ミナーハウス活動センターのウェブサイト
 をご確認ください。



<https://www.academy-kansai.org/>

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
3/30	水谷憲牧師	誕生者祝福式(・送別昼食会)
4/6	牛田匡牧師	ユウカリスト・教会を考える会
4/13	牛田匡牧師	おにぎり支援
4/20	牛田匡牧師	イースター礼拝・ユウカリスト 愛餐会

(主催)公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー 関西セミナーハウス活動センター

2024年度
修学院フォーラム
「エネルギーを
考える」
第12回

避けられない原子力災害と、 捨てられない使用済み核燃料： 必要を満たして余りある太陽の光と風の力

日時 2025年3月30日(日)16:00 ~31日(月)15:30
会場 関西セミナーハウス

発題1 「いのちを危うくする原子力発電」

アイリーン 美緒子 スミス (環境NGOグリーン・アクション代表)

日本は世界唯一、地震国でありながら原発が全国に行き渡る国です。14年前の東京電力福島第一原子力発電所事故の被害から私たちは何を学び、どのようにその教訓を活かせるのか？大事故が起これば、無数の避難先と避難先の市町の人々、医療と福祉施設の利用者が被害を受けます。福島の子供たちは、受けた被害に対し先頭に立ち闘っています。原発の稼働が違わぬ核廃棄物問題はどうかの
か？事故が起これば被害を受ける人々にも廃棄物を残された次世代にも決定権は
ありません。原発の再稼働と新設を決定するのは政府、電力会社と立地自治体の首
長からです。なぜ温暖化対策には原発の利用はふさわしくないのか、原発に反対
の市民はどのような行動を取っているか、日本の専門家と司法は何をしているか。
様々な情報と問題点を取り上げ、分析し、動かない日本の謎を読み解き、どのよう
な解決への糸口があるかを一緒に検討しましょう。

発題2 「いのちを育む太陽の光と風の力」

牛山 泉 (足利大学顧問、名譽教授)

世界は温暖化から沸騰化に転じ、世界各地で気象災害が激化し、さらに各地で戦争
が起こりエネルギーも食料も先の見通しが立たない状況です。
朝から原発を輸入しなかつたデンマーク。2023年1月に原発を全部止めた工業
国ドイツ。これらの国は、原発がなくても、風力発電や太陽光発電など再生可能エネ
ルギーだけでやっていけることを実証しつつあります。デンマークでは風力発電で電力需
要の54%を賄っており、脱炭素の国なのでバイオマスが15%になります。
国際エネルギー機関によれば、日本の洋上風力発電のポテンシャルは国内の電力需
要の9倍もあるといわれています。これに、太陽光、陸上風力、バイオマス、小水力、地熱も加
わり、日本は再生可能エネルギー王国なのです。「知るは力なりです。後世に悔い
を残す原発はなくて、日本はやっていけるのです。さあ、再エネ100%のモデル国実現
を目指して前進してまいります。

(参加費) 一般 16,000円、学生 5,000円 (1泊3食込、京都府宿泊税200円込) (個室の場合、差額1,000円)
 (申込み) 3月25日(火)までに、裏面の参加申込書の項目をWEBサイトフォーム、電子メール、電話、Faxで。